

日本WHO協会 関西グローバルヘルス(KGH)の集い
オンラインセミナー第3弾(YouTube生配信)!

COVID-19からの学びは国境を越えて

第3回(第16回KGHの集い)

ソーシャル・ディスタンス とり残されたのは、だれ?

日時:2021年7月7日(水)19:00~20:30

- 試験的に1週間(~7/14)の見逃し配信サービスを行います。見逃し配信での視聴にも参加登録が必要です。

話題提供

❖ 医療社会学の視点から

山中 浩司 氏(大阪大学大学院人間科学研究科)

❖ みんなの外国人ネットワークの試み

MINNA: Migrant's Neighbor Network and Action

藤田 雅美 氏(国立国際医療研究センター)

コメンテーター

❖ 中村 安秀 氏(日本WHO協会)

ファシリテーター

❖ 小笠原 理恵 氏(大阪大学大学院人間科学研究科)

● ミニ・パネルディスカッション

~ファシリテーターから~

ソーシャル・ディスタンスとは、もともと社会的孤立や集団(人種など)の違いによる距離感を示す言葉だったが、COVID-19によって3密回避を促すためのキャッチコピーとして世界中に流行した。対人距離の確保は、感染拡大防止の有効な手立てである一方、それによってとり残されてしまった人たちがいる。足りなかった配慮は何なのか。ソーシャル・ディスタンスという言葉の軸に、次につながる教訓を見出したい。

参加方法

右記QRコードまたは<https://forms.gle/5ukA18nprFtXUxB4A>から、お申込み下さい。後日YouTubeのリンクをメールでお送りします。

お問い合わせ 関西グローバルヘルスの集い運営委員会

kansai.gh.tsudoi@gmail.com (メールでお問い合わせ下さい)

